



報 廣

No. 311

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口

(平成9年11月末現在)

世帯数	10,183世帯
人口	30,942人
男	15,724人
女	15,218人
11月の人口移動	
出生	28件
死亡	9件
転入	83件
転出	65件
婚姻	14件
離婚	4件

編集・発行/西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷/沖縄コ口二一印刷



とじて保存すると便利です

年頭のごあいさつ



西原町長
翁長 正貞

町民の英知と
力の結集を

あけましておめでとうござ
います。皆様には清々しく新
春をお迎えのこととお喜び申
し上げます。

昨年は、国内においては消費税率のアップ・企業倒産・金融破綻、本県においては基地問題・国際都市形成構想・フリートレードゾーン問題等、激動する内外情勢や厳しい財政状況の中で、本町では、平和・教育・福祉等のソフト事業や生活・都市基盤整備等、各種事業を推進することができました。これも偏に町民はじめ、関係機関各位のご協力の賜と心から厚く御礼申し上げます。

今年も社会経済情勢は一段と厳しさを増していくものと思われませんが、二十一世紀を視野に、町民の英知と力を結集し、「人かがやき 自然ゆたか 文化かおる都市」をめ

あけまして おめでとうございます

町役長	助役	収入役	教育	總務	企圖財政課長	文化広報課長	福祉課長	福祉課長	國民健康保險課長	稅務課長	保健衛生課長	產業課長	土木課長	都市計畫課長	區画整理課長	水道課長	教育衛生課長	生涯學習課長	學校教育課	指導主事	調理給食所長
翁長	大城	島田	棚田	原	郷	上	糸	稻間	宮平	我比	嘉	儀	與	上	宮	吳	平	泉	新	吳	屋
正	助	美	賢	盛	清		善	政	正	孟	功	宗	彦	博	安	正	力	昌	貞	悟	清
卓	德	松	一	光	明	昭	明	昌	和	功	宗	彦	博	安	正	輝	ツ	夫	貞	悟	清

西原町農業委員会

ほか職員一同

ざして最善を尽くしてまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、迎えました寅年（幸運を「捕^{トラ}」える年）が、皆様にとりまして幸多い年となりますよう、心から祈念申し上げます。

※公職選挙法により皆様への
年賀状が禁止されておりま
すのでご了承ください。

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

あけまして おめでとうございます

(公職選挙法により、皆様への年賀状が禁止されておりますのでご了承下さい。)

西原町議会

西原町議会議長
富 春 治

年頭のごあいさつ

町民の皆様、明けましておめでとうございます。
皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素から町政に対しご協力をいただき、おかげさまで今日まで「文教のまち西原」づくりを目指し、議決機関の立場からひたすら努力を続けてまいりました。

議会の使命は、常に住民の福祉を考え、住民の立場に立つて判断しなければなりません。西原町の具体的政策を最終決定し、執行機関の行財政の運営や事務処理、事業の実施等が適法・適正に、また公平、効率的に行われているかどうかを、町民に代わって監視することです。

今年も町民が期待する町政のため、決意も新たに努力を傾注することをお誓いし、町民各位のご多幸を心から祈念申し上げます。



新春企画

とら
今年 は 寅 年

今年^{とら}は寅年。虎は千支の三番目、食肉目ネコ科の動物です。ライオンが「アフリカの百獣の王」なら、虎は「アジアの百獣の王」です。ウスリー(ロシアと中国の国境地帯)、中国大陸、朝鮮半島、東南アジアなど、温帯から熱帯地方にかけて広く生息していますが、日本列島には野性の虎はいません。

日本の文献に初めて虎が登場したのは「日本書紀」で、欽明天皇の六年(五四五年)に、百濟で虎退治をして、その皮を日本に持ち帰った人がいるということが記されています。生きた虎が日本にきたのは寛平二年(八九〇年)といわれ、その後、江戸時代には、虎は見せ物として江戸・大坂(大阪)などを回っていたようです。

多くの人が虎を見られるようになったのは、動物園が普及するようになってからです。しかし、虎はことわざなどによく登場し昔から親しまれていました。

だれでも知っている「虎の子」は、大切なもの、秘蔵のものということ。「虎穴に入らずんば虎児を得ず」も、虎の子が貴重なものという意味から、危険を冒さなければ(虎の住んでいる穴に入らなければ)成功は得られないということです。

「虎刈り」は、丸刈りがはやらなくなったので、最近あまり見かけません。「虎の巻」は、もともととは兵法の秘伝を記した書物のこと。以前は、学生さんなどが参考書などをこう呼んだのですが、この言葉もはやらなくなりました。

また、虎は強いもの、恐ろしいもの、たとえにもよく使われます。「虎視眈眈」「虎の威をかる狐」「虎の尾を踏む」「虎は千里住って千里還る」「虎は飢えても死肉を食わず」「虎は死して皮を残す」など、枚挙にいとまがありません。ただし、酔っ払いの大トラはいただけません。

ところで、今年の年賀切手の意匠の題材は、福島県の郷土玩具「三春張り子の虎」です。これは、郡山市にある通称「デコ屋敷」で作られている張り子の玩具です。デコというのは、木偶のこと、木彫りのデコに紙を張って張り子を作ります。職人さんの仕事場が集まっているのがデコ屋敷で、ここで作られている「三春駒」も、昭和二十九年の第一回の年賀切手に採用されました。

「三春張り子の虎は「腰高虎」といって、腰を高く上げて威嚇している威勢のいい姿が特徴です。でも、見たところ、とてもかわいい感じの虎です。製作者の一人はこう話しています。

「このデコは江戸時代のものが残っていて、新しいものもその形を踏襲しています。江戸時代には虎を見た人はほとんどいなかったもので、猫がモデルになったのかもしれない。」

いずれにしても、昨年は明るい話題の少ない年でした。今年は虎のように、威勢よく頑張りたいものです。



- 〔1月〕
- 3日(金)※平成9年新春書き初め会(9:00、町民体育館)
- 6日(月)※町民新春の集い(16:00~18:00、町中央公民館)
- 8日(水)※都市マスタープラン地域説明会(19:00、21:00、坂田小学校体育館、1/10、西原南小、1/13、西原東小、1/14、西原小)
- 9日(木)※東部消防出初式(14:00、東部消防本部)
- 12日(日)※新春トリムマラソン(9:00、西原小学校、町内)
- 15日(水)※平成9年町成人式(14:00、町民体育館)
- 26日(日)※新春カラオケ&もちつき大会(13:00、社会福祉センター)
- 〔2月〕
- 1日(土)※坂田保育所発表会(9:00、社会福祉センター)
- 2日(日)※西原東小学校学芸会(9:00、同校体育館)
- 7日(金)※町水道事業創設30周年記念式典・祝賀会(16:00、町中央公民館)
- 10日(月)※平成9年度町小中特殊学級合同作品展(11:00、町中央公民館、1/2、1/4)
- 12日(水)※琉球舞踊鑑賞会(15:30、西原東小学校体育館、1/14、西原中)
- 16日(日)※平成9年度町職員採用試験(10:00、町中央公民館)
- 24日(月)※大城助徳氏への助役辞令交付式(9:00、町役場二階大会議室)
- 〔3月〕
- 1日(土)※女性企業家によるフォーラム(14:00、町中央公民館)
- 2日(日)※海邦国体記念バスケットボール大会(9:00、町民体育館、3/9、16)
- 9日(日)※はばたままつり'97(11:00、町中央公民館)
- 11日(火)※町議会3月定例会(10:00、町議会会議場)
- 16日(日)※町立中学校卒業式
- 17日(月)※第4代村長・新川文吉氏の肖像画贈呈式(10:00、町長室)
- ※西原東中学校スポーツ生徒
- 〔4月〕
- 3日(木)※城間美代子氏への収入役辞令交付式(9:00、町役場二階大会議室)
- 4日(金)※平成9年春の交通安全運動出発式(10:00、町中央公民館、翔南製糖工場)
- 6日(日)※沖繩キリスト教短期大学創立40周年記念式典(15:00、同大学チャペルほか)
- 17日(木)※都市マスタープラン住民説明会(19:00、町中央公民館)
- 18日(金)※教育委員・島田賢松氏への教育長辞令交付
- 26日(土)※坂田郵便局開局10周年記念祝賀会(18:00、かねひで都パレス)
- 〔5月〕
- 2日(金)※E型デイサービス事業「さわふじ」開所式(13:00、守礼の里)
- 8日(木)※児童福祉施設巡回訪問(9:30、町内保育園)
- 16日(金)※町小中学校特殊教育合同レクリエーション(9:00、町民体育館)
- 20日(火)※町小口資金融資制度調印式(14:00、町長室)
- 21日(水)※春の行政相談所開設(10:00、町役場二階第二会議室)
- 24日(土)※町福祉子どもふれあいまつり'97(14:00、町中央公民館)
- 30日(金)※第8回町農家の集い(15:00、町中央公民館)
- 〔6月〕
- 9日(月)※児童福祉法制定50周年記念講演会(14:00、坂田小学校体育館、6/16、西原南小学校体育館)
- 20日(金)※平成9年度幼稚園ボランティアスクール(10:00、西原幼稚園)
- 23日(月)※町平和コンサート&「GAMA」月桃の花」上映会(15:30、町中央公民館)
- 24日(火)※町議会6月定例会(10:00、町議会会議場)
- 〔7月〕
- 1日(火)※町障害者計画策定委員会委員交付式・第1回策定委員会(14:00、町社会福祉センター)
- 4日(金)※平成9年度地域教育懇談会(20:00、各自治会公民館)
- 5日(土)※第17回町青少年健全育成大会(14:00、町中央公民館)
- 10日(日)※町平和と交流事業「ジュニアピース・メッセージ」に事前研修(16:00、議会委員会室)
- 12日(土)※西原台団地公園開園式(16:00、同園)
- 19日(土)※沖繩平和祭'97特別企画展(10:00、町中央公民館、7/24)
- 23日(水)※第16回町道路排水愛護デー(9:00、町内)
- 24日(木)※第10回町親子で学ぶ戦争追体験展とバスツアー(8:45、町中央公民館、中部)
- 〔8月〕
- 26日(土)※第3回サワフジを愛でるタペ(18:00、内閣御殿)
- 20日(水)※第3回町地域自治活動発表会(19:00、町中央公民館)
- 22日(金)※第4回西原カップ'97開催(8/24、町民体育館ほか)
- 27日(水)※町健康づくり推進協議会委嘱状交付・第一回委員会(14:00、町役場二階会議室)
- 〔9月〕
- 5日(金)※平成9年度町水道週間作文・標語募集表彰式(16:00、町役場二階会議室)
- 6日(土)※トーカチ慶祝訪問
- 8日(月)※特産品を考える料理講習会(17:00、町中央公民館調理室)
- 9日(火)※下水道マンホール蓋デザイン入賞者表彰(13:30、町長室)
- 10日(水)※第37回全国下水道促進デー広報パレード(10:15、町役場水道庁舎、町内)
- 11日(木)※内閣配水池通水式(15:00、同地)
- ※水道中央監視システム全面供用開始式(16:00、町役場水道課)
- 15日(月)※第14回町敬老会(14:00、町中央公民館)
- 17日(水)※地域公民館文庫設置許可証交付式(14:00、町中央公民館)
- 19日(金)※県産業廃棄物処理協同組合共同施設落成式(14:00、同施設)
- ※平成9年度町海外移住者子弟研修生歓迎・激励会(18:30、西原共同福祉施設)
- 22日(月)※町議会9月定例会(10:00、町議会会議場)
- 25日(木)※糸数盛喜氏(空手・上地流)の県重要無形文化財技能保持者認定祝賀会(18:30、かねひで都パレス)
- 28日(日)※第18回町陸上競技大会(9:00、陸上競技場)
- 〔10月〕
- 4日(土)※町立保育所運動会(9:00、町民体育館)
- 5日(日)※町立小学校運動会(9:00、各小学校運動場)
- 6日(月)※働く女と男のいきいきフォーラム(14:00、町中央公民館)
- 8日(水)※カジャマヤ祝賀会(祝賀者者慶祝訪問)
- 9日(木)※第4回町美術工芸・写真・書道展(10:00、町中央公民館、10/12)
- 10日(金)※いきいき健康フェスタ'97(10:00、町民体育館ほか)
- 13日(月)※児童福祉法制定50周年記念無認可保育施設巡回(9:45、町内保育施設)
- 16日(木)※秋の行政相談所(10:00、町役場二階第二会議室)
- 18日(土)※県芸術祭邦楽公演(18:30、町中央公民館)
- 25日(土)※第11回西原まつり(陸上競技場、10/26)
- 31日(金)※平成9年町戦没者追悼式(14:00、西原の塔)
- ※町クリーン指導員らへ「こ
- 〔11月〕
- 9日(日)※第11回町社会福祉大会(14:00、町中央公民館)
- 11日(火)※憲法・地方自治法施行/児童福祉法制定50周年記念「町子ども議会」(10:00、町議会会議場)
- 12日(水)※小学生の「税に関する書道」入賞者表彰式(14:00、町役場二階会議室)
- 13日(木)※町議会臨時会(10:00、町議会会議場)
- ※町産業通商局設立15周年記念式典・祝賀会(18:30、かねひで都パレス)
- 22日(土)※私立保育向上連絡協議会・保育まつり(10:30、町社会福祉センター)
- ※児童館フェスティバル'97(13:00、町中央公民館)
- 26日(水)※平成9年度浦添地区国民年金大会(15:00、町中央公民館)
- 27日(木)※平成9年度町功労者表彰式(16:00、町中央公民館)
- 28日(金)※西原東中学校武道指導推進校研究発表会(14:00、同校体育館)
- 29日(土)※小波津壮年会創設20周年記念式典・祝賀会(18:30、小波津落着センター)
- 〔12月〕
- 8日(月)※平成9年度第四回町交通安全推進協議会(年末年始の交通安全県民運動)14:00、町役場二階会議室)
- 11日(木)※町議会12月定例会(10:00、町議会会議場、12/16)
- ※琉球舞踊鑑賞会(15:00、西原小学校体育館)
- 19日(金)※平成9年度青少年ふれあいの旅結団式(16:30、西原南小学校体育館、12/26、12/29、山梨県都留市)
- ※平成9年度町海外移住者子弟研修生修了式・送別会(18:00、西原共同福祉施設)
- 31日(水)※第7回24時間ソフトボール大会(12:00、西原中学校運動場、1/1、12:00)
- みの五種類分別」説明会開催(16:00、町中央公民館)



△西原町の振興・発展に顕著な功績をした個人・団体を表彰し、その業績を讃えた「平成9年度西原町功労者表彰式」(11/27、町中央公民館)

本町への功労をたたえ、

個人二十九人と七団体を表彰

―平成九年度西原町功労者表彰式―

町主催による『平成九年度西原町功労者表彰式典』が、十一月二十七日午後四時から、町中央公民館大ホールで開催されました。

これは、本町の教育、産業、衛生、土木、土地改良、納税、慈善事業、公益事業等、地方自治の振興・発展に顕著な功績をした個人・団体を表彰して、その業績を讃えようというもので、

式典では、大城助徳助役による開式のあいさつ後、翁長正貞町長から本町の地方自治に貢献された個人二十九人と七団体に対し、表彰状が手渡されました。

表彰後あいさつした翁長町長は「今後も豊富な識見と尊い経験を生かされ、郷土の発展のため、引き続きご指導とご協力を」と述べ、被表彰者たちを激励しました。

また、富春治町議会議長が

「被表彰者のみなさん、おめでとうございます。みなさんのように、陰ながらお力添えをしていただく方々により、今日の西原町は支えられています」と、来賓あいさつを述べました。

被表彰者を代表して、前町長の平安恒政氏が謝辞を述べました。

式典に引き続き、祝賀会が開催され、会場につめかけた

- 約二百人の参加者たちは、被表彰者の功績を讃え、ともに表彰を喜んでいました。
- なお、被表彰者の方々は次の通り(敬称略)。
- 【個人】(二十九人)
- ▽平安恒政(前・町長)
 - ▽小川良夫(前・助役)
 - ▽稲福恭助(前・教育長)
 - ▽故・稲福勝美(前・町議会議員)
 - ▽與那嶺浩(前・教育委員長)
 - ▽城間哲男(前・教育委員)
 - ▽金城哲男(前・代表監査委員)
 - ▽故・仲宗根正光(前・農業委員)
 - ▽呉屋厚雄(前・町職員)
 - ▽佐久川正信(前・町職員)

- ▽新川美代子(前・町職員)
- ▽小波津稔(前・町職員)
- ▽與那嶺光雄(前・町職員)
- ▽新垣ヨシ子(前・町職員)
- ▽小波津ミエ子(前・町職員)
- ▽宮平政子(前・町職員)
- ▽金城幸子(前・町職員)
- ▽棚原京子(前・町職員)
- ▽宮平光子(前・町職員)
- ▽金城トミ子(前・町職員)
- ▽伊波信子(前・町職員)
- ▽上原義人(前・町職員)
- ▽與那嶺キヨ(水道検針・料金集金業務)
- ▽宮城真正(町人材育成会への多額の寄付、宜野湾市新第一丁目三番十一号)
- ▽宮平初子(町人材育成会への多額の寄付、字与那城二百六十三番地)
- ▽伊波貞子(町人材育成会への多額の寄付、字棚原七百七十七番地の二)
- ▽下地郁子(町人材育成会への多額の寄付、字呉屋九十四番地の二)
- ▽上江洲彦一(町人材育成会への多額の寄付、字兼久百七十三番地の三)
- ▽新里澄子(町人材育成会への多額の寄付、沖縄市胡屋一

- 番地の七の一号)
- 【団体】(七団体)
- ▽金秀グループ(西原運動公園への記念植樹・町人材育成会等への多額の寄付、会長・呉屋秀信、那覇市旭町二十七番地)
 - ▽協業組合 丸正印刷(町人材育成会への多額の寄付、理事長・與那覇正俊、字小那覇一二一五番地)
 - ▽オキコ株式会社(町人材育成会への多額の寄付、代表取締役社長・金城正男、字幸地三百七十一番地)
 - ▽株式会社 名護鉄工所(町人材育成会への多額の寄付、代表取締役社長・棚原憲慶、浦添市城間二八八九番地)
 - ▽株式会社 メイクマン(町人材育成会への多額の寄付、代表取締役社長・岸本安正、浦添市城間二六八九番地)
 - ▽有限会社 明生建設(町人材育成会への多額の寄付、代表取締役社長・池原忠英、字翁長百五十八番地の二)
 - ▽西原町建設協力会(町人材育成会への多額の寄付、会長・赤嶺秀政、字兼久百六十四番地の二)

1月10日 110番の日

(○守ります 地域の安全 110番 ○困りごと かけて安心 #9110 沖縄県警察本部・浦添警察署)



△西原高校マーチングバンド部は、老人保健施設・池田苑で演奏会を開き、お年寄りと交流しました(12/6、池田苑)

これは、宮城理事の「精神ケアには音楽が良いので、ぜひ世界のトップレベルを誇る地元・西原高校マーチングバンド部の演奏を見せ

てあげたい」と三年前から温めていた企画に、同校マーチングバンド部顧問である大城教諭の恩師と親交があるお年寄りが橋渡し役となり、西原高校マーチングバンド部も快く協力したことから、今回の演奏会が実現しました。

演奏会は場所の広さの関係で座っての演奏となりましたが、同部は、時節もののクリ

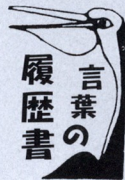
スマスソングや日本の童謡、歌謡曲、沖縄民謡など幅広い分野の曲を、じっくりとときには愉快にテンポよく演奏しました。曲の演奏が進むにつれ、手拍子をとるお年寄りも増え、演奏会の最後は、全員でカシャーシーを踊り、大いに盛り上がりました。

また、演奏途中には、お年寄りにマーチングバンドを身

近に感じられるようにと、楽器の名前や音などの紹介もありました。

頭に刺激を、心には感動を――池田苑で西原高校マーチングバンドが演奏会――

「すばる」は牡牛座にある星団で、西洋ではプレアデス(Pleades)と呼ばれます。プレアデスはギリシャ神話に登場する七人姉妹の名。月の女神の侍女でしたが、猟師オリオンに追われて天に昇り、星になったとされています。中国では星座二十八宿の一つで、漢名は「昴宿」。昴は「スバル」とカタカナ書きされることが多いため、外来語と勘違いしてしまうこともあるようです。



すばる

しかし、実は「枕草紙」に「星はすばる……」とあるように、古くから使われてきた日本語なのです。

肉眼では六つの星が一つにまとまっているように見えるので、「六連星」と呼ばれます。

「すばる」は「統べる」星の意。古代から王者のシンボルとして、また農耕の星として尊重されてきました。

南の空に最も高く見えるのは一月下旬。

俳句では「冬昴」や「寒昴」が季語として使われます。

「寒昴 天のいちばん

上の座に」
山口 誓子

「はたちの献血」
キャンペーン
1月10日～2月9日

「献血」で支えられている命があります

●冬は血液が不足する

血液を人工的につくりだすことは、まだできません。輸血用の血液は、すでに献血によってまかなわれています。

しかし、増加する血液需要に対して、ここ数年、献血者の数は減少する傾向をみせています。特に冬は、昼間の時間が短いために午後の献血者が少なくなり、例年、血液が不足しがちです。

輸血用血液は、毎月一定の量が必要で、常に新しい血液を確保しなければなりません。

一人でも多くの方に、献血にご協力いただくことが望まれます。

●若い世代の協力が不可欠

献血者の約九〇%が、十六～四十九歳の青壮年層。それに対して、輸血用血液の約八〇%が、五十歳以上の方方に使われています。

社会の少子・高齢化は、今後ますます進みます。輸血を必要とする高齢者が増える一方で、献血を担う若い世代は減少し、輸血用の血液はますます不足すると予測されています。

そこで、二十歳の若い方々、特に成人として社会に第一歩を踏み出そうとしている人を



対象に行っているのが「はたちの献血」キャンペーンです。

毎年、成人の日を中心とした一ヵ月間、献血の重要性を呼び掛け、社会の一員として進んで献血に参加することを求めています。

「自らの血液を分け与えるボランティア」ともいえる献血。輸血を必要とする患者さんたちにとっては、あなたの思いやりが、なくてはならないものなのです。

※先月号六頁の記事で町建設協力会の会長名が誤っており訂正致します。

▽誤・小波津健一正・赤嶺秀政



△国民年金制度についての認識も新たに(「平成9年度浦添地区国民年金大会」、11/26、町中央公民館ホール)

もっと知ってほしい 国民年金制度の重要性

―平成9年度浦添地区国民年金大会―

沖縄県社会保険大会で本町と本町職員が表彰される

平成9年度浦添地区国民年金大会が、十一月二十六日午後、町中央公民館ホールで開催されました。

これは、浦添地区国民年金協議会と浦添社会保険事務所の主催により、県民の年金権を確保するため、国民年金制度の周知徹底と国民年金保険料の納付促進を図ろうと開かれたもの。大会には、浦添地区国民年金協議会の市町村職員や専任徴収員、納付指導員ら約二百人が参加しました。

大会では、翁長正貞町長が歓迎のことば(代読・大城助徳助役)を、上里貴義県生活

福祉部国民年金課長が来賓祝辞をそれぞれ述べ、引き続き、本町嘱託納付指導員の仲真恵奈美さんが大会宣言を読み上げ、参加者全員で採択しました。

なお、十一月二十日に沖縄厚生年金休暇センター(佐敷町)で開催された平成9年度沖縄県社会保険大会において優良市町村に西原町が、優良市町村職員に上地安治氏(西原町)が表彰されました。浦添地区内の被表彰者(団体)は次の通り(敬称略)。

【社会保険庁長官表彰】

▽優良民間地区組織・安座真

自治会(知念村)

【沖縄県知事表彰】

▽優良市町村・西原町▽優良市町村職員・上地安治(西原町)▽優良国民年金指導員・玉城好美(与那原町)

【沖縄県国民年金推進協議会会長表彰】

▽優良市町村職員・玉城恒夫(大里村)



年金受給者の皆さんへ

年金の年間スケジュールを知っておきましょう。

新しく年金を受給されることになる皆さん、長い間、国民年金の保険料の納付ご苦労さまでした。皆さん方が納めてきた保険料をもとに六十五歳から年金が支給されます。

ところで、年金の受給は権利であり、その権利は適切に行使し、また自分自身で守ることが必要です。

国民年金の場合には、受給者の皆さん方には次のとおり年間スケジュールに沿って給付や諸手続が進められますので、自分自身の生活設計と受給権確保のための手続を、いま一度念頭においておきましょう。

◆二月、四月、六月、八月、十月、十二月の各偶数月の十五日に、前二ヵ月分の年金が支給されます。

◆年金を受け始めて二年目の誕生日から、現況届の毎年提出が必要になります。これは死亡された方のところに年金が支給され続け、後で遺族の方が面倒な手続きなどをし

なくてはすむようにするためです。

◆毎年十一月の下旬から十二月月上旬にかけて、①六十五歳未満で一〇八万円以上②六十五歳以上で一七八万円以上の老齢年金の受給者は、扶養控除申告書の提出が必要です。

◆毎年一月の下旬から二月月上旬にかけて、老齢年金の受給者には源泉徴収票が送られてきます。

◆ここ二年は物価が安定していましたが、年金額の物価スライドは有りませんでした。物価スライドにより年金額が引き上げられた場合は、五月中旬に年金額の改定通知書が送られてきます。

お問い合わせは

町役場国民健康保険課
国民年金係

☎九四五―四七九一

(内線 一五三)

国民年金は口座振替でネ



男性も料理する喜びを

ー男性料理講習会ー



△料理のできあがりを楽しみ(「男性料理講習会」、11/20、町中央公民館調理室)

「料理する喜びを体験しよう」と、町女性行動計画地域推進委員会家庭部会(川満ヤス子部会長)では、一般男性を対象にした「男性料理講習会」を、11月20日午後、町中央公民館ホールで開催しました。

これは、男女共同参画社会の実現を目指すには、より一層の男性の家庭参画が必要なことから、料理をすることで、男性にも生活者としての経験や楽しさを発見してもらい男性の家庭参画の機会としてもらおうと企画したもの。講習会には、翁長正貞町長をはじめ、町役場職員やサンライズ農協職員、一般男性ら約30人が参加しました。

料理メニューは、野菜チャンプルーや豚肉と厚揚げ・里いもの煮込みなど4品目。一グループ5名で6グループに分かれて、地域部会の女性会員から手ほどきを受け料理しました。調理後は、「インスタント・ラーメンしか作ることがないので、今日は素晴らしい体験をした」、「次回は男性が買い物をして、女性が料理するようにしてはどうか」といった意見もでるなど、日ごろ仕事では見られない笑顔で、参加者全員なかよく会食しました。

西原東中学校が
武道指導推進校
として研究発表会

△剣道と空手道の学習を通して、生徒の育成を図った3年間の取り組みを発表(11/28、西原東中学校体育館)

町立西原東中学校(伊禮青勝校長)では、11月28日、同校体育館で、武道指導推進校最終年次の公開授業と研究発表を行いました。

同校は、平成7年度から9年度までの3年間、文部省・県教育委員会・町教育委員会から「武道指導推進校」の指定を受け、剣道と空手道の学習を通して「武道の特性を生かした学習指導の工夫」をテーマに、「基本動作や対人技能、マナー面を十分身につけさせ、技能に応じた練習や試合ができるようにする」、「相手を尊重し、公正な態度で行うとともに、用具や施設の安全に留意する」を基本方針に、研究実践を進めてきました。▷公開授業では、3年生による剣道と空手道の授業が公開され、生徒たちが、はつらつと学習の成果を発表しました。引き続き研究発表会が行われ、研究概要と最終研究報告や研究協議、中頭教育事務所主任指導主事・伊波正明氏による指導助言などがありました。▷研究発表会では、「子どもの興味・関心を取り入れた指導の工夫」、「グループ中心の学習形態」、「学習カード・グループノートの活用」、「剣道の用具の工夫や空手道の姿見の鏡の活用」などが成果として挙げられる一方、「剣道指導における時間の工夫、選択時間数の拡大」や「空手道での組み手を取り入れた指導方法の研究」などの課題も指摘されました。

日ごろの活動の成果をみてほしいナア

ー児童館フェスティバル'97ー



▷手話クラブの児童たちが「手話うた」を披露(11/22、町中央公民館)。

西原児童館と西原東児童館では、11月22日午後、町中央公民館で、児童館フェスティバル'97を開催しました。

これは、今年が児童福祉法制定50周年にあたる節目の年を記念して、児童館活動の内容を広く町民にも知ってもらうことと親子のふれあいの場を設け、地域における児童福祉の増進を図ろうと開かれたもので、「コアラ」・「ひよこ」の2母親クラブが共催しました。

公民館ホールでは、手話クラブの児童たちによる「手話うた」や幼児クラブの親子ダンス、タレントの鉢嶺元治さんによるおしゃべりや歌、踊りを交えたショー、ゲーム遊びなどが行われ、会場内の親子づれも、一緒になって歌を歌ったり、手拍子をとって大いに楽しんでいました。

また、ロビーや研修室では、児童館活動の写真パネルや作品の展示、バザーのほか、お茶会や「麦の穂」クラブの絵本読み聞かせなどもあり、約500人の親子連れで大いに賑わっていました。

ペルー国からの研修員 が西原東小などを視察

ペルー国の公衆衛生計画に携わる行政官で、浦添市にある沖縄国際センター(OIC=OKINAWA INTERNATIONAL CENTER)で感染症対策を学んでいる研修生ら十五人が、十二月三日、本町の西原東小学校や学校給食共同調理場を訪れ、児童生徒の健康管理や給食施設の整備、調理人の健康管理、児童生徒の栄養管理等について学びました。

研修員らは、町役場に表敬訪問後、西原東小学校で授業の見学や健康教育の説明を受け、児童らとともに給食を楽しみました。また、学校給食共同調理場では、栄養士や所長から学校給食の意義と役割、給食施設や調理人の衛生管理などについて説明を受けた後、実際に調理場での作業を見学しました。研修員らは、各自でビデオや写真に撮影したり、メモをとるなど熱心に学んでいました。

ペルー国では、一九九〇年二月にコレラ感染が大量発生し、国内外で非常に大きな被害をもたらしました。また、都市などの人口密集地にコレラや結核、チフス等の感染症が多く、感染症の効果的な予防法と対策の確立は、ペルー国での急務となっています。

町史だより
—No.28—

資料紹介

「戦前の「教員辞令書・証書・叙勲証書」

みなさん、あけましておめでとうございます。

今回は新年にふさわしく、おめでたいお話をしますね。

このたび、町史に戦前の貴重な資料が寄贈されました。

その資料とは、字嘉手苅出身である外間仁榮氏の教員辞令書一通、証書一通、叙勲証書一通です(昭和三年から十九年までのもの)。資料を提供していただいた

たのは、仁榮氏の息子さんの惟正氏。

西原町はさきの沖縄戦においては激戦の地となり、多大な被害を被りました。

そのため、このような戦前の資料は数少ないといえます。

それでは、すこしばかり辞令書の内容をみてみましょう。

沖縄県中頭郡西原尋常高等小学校訓導

外間仁榮

立西原実業補習学校助

教諭二兼任入

教授期間中月手當金

五圓給與

昭和三年六月三十日

昭和十六年十二月一日

沖縄縣國民學校訓導外間仁榮
國民學校訓導主任
高等官七等以待遇

内閣總理大臣東條英機

△寄贈された辞令書(当時の内閣總理大臣「東條英機」の名が見える)

①の教諭として任命されたようです。その給与は月五円でした。

この辞令書以後、外間氏は第二豊見城尋常高等小学校訓導、豊見城村第二青年訓練所指導員、豊見城実業補習学校助教諭、西原尋常高等小学校訓導、中城尋常高等小学校訓導、國民學校訓導(高等官七等)、國民學校長(高等官六等)という履歴をたどります。

昭和十六年の國民学校時代の辞令書には、ときの内閣總理大臣、東條英機の名がみえます。また、昭和十五年に赤十字社社員証書、昭和十九年には宮内大臣から叙勲証書をもらっています。

これらの証書には、美しい菊や桐の花のすかしが入っているものもありました。このように、外間氏の辞令書からは、外間氏という人の歴史がうかがえると同時に、その当時の教育や社会までみえてくるようです。

町民のみなさんにとって、も、当時を知るよい資料だといえるのではないのでしょうか。

西原町史でも、「西原の教育」の編集に取りかかっている最中であり、このような資料はたいへん参考になるありがたいものです。今後とも、この資料をさらに活かせるように努力して参ります。

こんなおめでたいお話しが年中お伝えできるよう、今年も町史はがんばりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

*注①

実業補習学校とは、職業に必要な知識技能を補習する学校で、この構想は日本資本主義の発展を背景に、一八九三(明治二十六)年の「実業補習学校規程」に基づいて設置され、国より多額の補助金が支給された。入学資格は尋常小学校卒業以上だが、学齢を過ぎた者にも入学が認められた。修業年限はふつう二ヶ年で、小学校に付設し、多くは夜間の二時間内外の授業であったが、農閑期を利用する昼間の授業もあった(『沖縄大百科辞典』抜粋)。

第112期青年隊員募集

～青年隊に入隊し 技術を身につけよう～

①趣 旨：

機械技術者、社会の中堅青年、農業自営を志す青年に「働きながら学ぶ」ことで、協力・協調・知識・技術を習得させ、地域社会に役立つ青年を養成するための教育訓練を行う。

②応募資格：

義務教育を修了した満25歳までの独身男子で、心身健全、共同生活を守りうる者

③訓練期間：

平成10年4月2日～平成10年9月18日

④申込方法と申込先：

志願書と健康診断書各1通を各市町村長か市町村青年会長または出身学校長を経由して、あるいは直接

〒905-12 東村字平良380-1

(社) 沖縄産業開発青年協会

⑤応募締切：

西原町役場→平成10年1月30日(金)まで
産業課 ☎945-4540(内403)

直接協会へは→平成10年2月10日(火)まで
(当日消印有効)

戦争で亡くなられた軍人軍属等のご遺族の皆様 “特別弔慰金”の請求はお済みですか。

○対象となる方

満州事変以後公務上死亡された戦没者等のご遺族の中に平成7年4月1日において公務扶助料、遺族年金等を受ける方がいない場合に、次のご遺族のうちの先順位者に特別弔慰金を支給します。

①平成7年4月1日までに戦傷病戦没者遺族等援護法による弔慰金を受給した方。

②戦没者等の子

③戦没者等と生計を共にしていた父母、孫、祖父母、兄弟姉妹(平成7年4月1日において婚姻により姓が変わっている方又は遺族外の人と養子縁組をしている方を除きます。)

④上記③以外の父母、孫、祖父母、兄弟姉妹

⑤上記①から④以外の三親等内の親族(戦没者等の死亡まで引き続いて1年以上生計を共にしていた方に限ります。)

○給付内容 額面40万円10年償還の記名国債

○請求期限 平成10年3月31日

※今一度、手続きしたかどうか確認されますようお願いいたします。すでに、ご請求を済ませた方が、再度請求する必要はありません。

詳しくは、福祉課へおたずねください。

問い合わせ：福祉課 ☎ 945-5311(121)

第41回 西原町親子名画鑑賞会

長編アニメーション 地球が動いた日

Explanation かいせつ

戦後最大の阪神・淡路大震災が起こってから3年目を迎えました。

大震災は、未来を担う子どもたちの心身に大きな傷痕を残しました。親や兄弟の死、クラスメートの死、避難生活など、いままでの平和な日本には考えられない悲しみを経験しました。しかし、一方でその体験のなかから、たくさんのものを学びました。

映画は、大震災の悲しみから明日を見つめ、互いに希望を見つけたして成長していく子どもたちの姿を感動的に描きます。震災をとおして大人になるための真の勉強をする剛(つよし)君、学校や友だちのすばらしさを父親の死をとおして知る和幸(かず)君、その物語のなかから「命の尊さ」とは、「人間の真の優しさ」とはを問うていきます。

○上映時間——午前10時・午後2時

○上映場所——町中央公民館

○入 場 料——400円(幼稚園以上)

○主 催——町教育委員会・町中央公民館

○共 催——町社会福祉協議会 (カラー・スタンダード、78分)

Story ものがたり

1995年1月17日未明、大地震が神戸を襲った。

6年生で、一流中学をめざしている剛(つよし)の住む屋敷も崩壊した。クラスメートで、家族でたった一人の父親を失った和幸(かず)君、保育園のときから仲良しだった美帆(みほ)ちゃんは、家族もろとも死んでしまった。

避難所で、不登校のかずくんの心の痛みを知るつよし、お年寄りを始めとする避難所の人々の心づかいや、ボランティアの励ましのなかで、人とひととの繋がりの大切さを知っていくつよし。

授業が再開された。みほちゃんの机に供えられた花を前に、担任の酒井先生は、震災で体験した辛いこと、悲しいこと、感じたことをとおして「命の授業」を始める。

卒業の日が近づいてきた。みほちゃんと一緒に卒業したい、かずくんにも来てほしい、避難所でお世話になったおばあちゃんにも見てほしい、たくさんの願いを込めて、クラスメートは卒業式の準備にとりかかった。



忘れないで神戸 復興をささえあう

「地球が動いた日」上映会

「命の授業」の交歓 感想文コンクール

【書き方】400字詰原稿用紙で2枚。一番上に別紙をつけて、住所、氏名、学校名、学年を明記。

【送り先】〒900 那覇市久茂地2-3-1

琉球放送 事業部「地球が動いた日」係

【締切り】1998年3月末日、映画を見たら早めに書いて出してください。作品はお返ししません。

【表彰】表彰者は1998年8月(予定)に、神戸に派遣し、被災した子どもたちとの交流「命の授業」に招待します。

1月25日(日) 洋楽コンサート『春のいぶき』(主な出演者…伊江朝明(バス)、与那嶺優子(クラリネット)、屋比久美香(ピアノ)ほか)

(15:00～16:30、町中央公民館ホール。主催：町文化協会洋楽部、入場無料。☎ 946-6830 大山まで)

1月(JAN.) 行事・祭事予定表

- 4日(日) ○新春書き初め会(9:00~12:00、町民体育館)
- 5日(月) ○御用始め
○平成10年町民新春の集い(16:00、町民体育館)
- 7日(水) ○ツペリクリン反応(3カ月~47カ月児、9:30~10:15、町中央公民館)
- 8日(木) ○3歳児健診(H6. 9. 12~H6. 10. 8生まれ、13:30~14:15、町社会福祉センター)
- 9日(金) ○BCG(ツ反応陰性者、9:30~10:15、町中央公民館)
- 11日(日) ○乳児一般健診(H9. 7. 27~H9. 10. 11生まれ、H9. 2. 27~H9. 5. 11生まれ、9:00~10:15、13:00~14:15、町中央公民館)
○新春トリムマラソン(9:00、町陸上競技場)
- 14日(水) ○ベビースクール1(3カ月~5カ月児(第1・2子)、13:30、町中央公民館)
- 15日(木) ○成人の日
○平成10年成人式(受付13:30~14:00、開式14:00~16:00、町民体育館)
- 20日(金) ○ベビースクール2(3カ月~5カ月児(第1・2子)、13:30、町中央公民館)
- 22日(木) ○1歳半健診(H8. 6. 18~H8. 7. 13生まれ、13:30~14:15、町中央公民館)
- 25日(日) ○洋楽コンサート『春のいぶき』(15:00、町中央公民館ホール)

2月(FEB.) 行事・祭事予定表

- 5日(木) ○3歳児健診(H6. 10. 9~H6. 11. 5生まれ、13:30~14:15、町社会福祉センター)
- 6日(金) ○母親学級1(初妊婦、13:30、町社会福祉センター)
- 13日(金) ○母親学級2(初妊婦、13:30、町中央公民館)
- 15日(日) ○'98おきなわマラソン(9:00~15:00、県総合運動公園)
- 19日(木) ○1歳半健診(H8. 7. 14~H8. 8. 19生まれ、13:30~14:15、町中央公民館)
- 20日(金) ○母親学級3(初妊婦、13:30、町社会福祉センター)

知っていますか? 沖縄県の最低賃金

沖縄県内の使用者は、この最低賃金額より低い賃金で労働者を使用することはできません。

(1) 地域別最低賃金

最低賃金の件名	最低賃金額	効力発生日
沖縄県最低賃金(地域別最低賃金)	日額4,625円 時間額579円	平成9年9月30日

(2) 産業別最低賃金

最低賃金の件名	最低賃金額	効力発生日
畜産食料品製造業	日額4,937円 時間額618円	平成9年12月13日
糖類製造業	日額5,000円 時間額625円	平成9年12月12日
清涼飲料・酒類製造業	日額4,945円 時間額619円	平成9年12月10日
新聞業	日額5,249円 時間額656円	平成9年12月12日
各種商品小売業	日額4,855円 時間額607円	平成9年12月7日
自動車(新車)小売業(新設)	日額4,852円 時間額606円	平成9年12月6日
自動車小売業(凍結)	日額4,630円 時間額579円	平成7年12月6日
お問い合わせ先 沖縄労働基準局・労働基準監督署 ☎(098)868-3421		

さとうきび共済に加入しよう

加 入

- ①加入資格は国頭郡、島尻・中頭郡では5アール以上、宮古、八重山では10アール以上のさとうきびを栽培している農家が対象です。
- ②加入方法は栽培しているさとうきび畑の全部を一筆ごとに栽培型別に記入して申し込みます。

基準収穫量

きび作農家が工場に出荷した過去3年以上の生産実績を基礎にして耕地ごとに栽培型ごとに基準収穫量を設定します。

共 済 掛 金

共済掛金の55パーセントを国が負担します。

共済掛金=共済金額×共済掛金率

農家が負担する掛金は、これの45パーセントに賦課金を加えたものになります。

共 済 事 故

共済事故とは補償金支払いの対象となる事故のことを言います。

- ◎風水害 ◎干害 ◎病虫害(黒穂病、ハリガネムシ、アオドウガネ、バッタ等) ◎鳥獣害(イノシシ、ネズミ等)
◎火災 ◎その他気象上の災害

問い合わせ先 島尻・中頭郡農業共済組合 ☎098(945)3293
西原町役場産業課 ☎098(945)4540

'98おきなわマラソン西原支部「係員」募集

「おきなわマラソン'98」の運営を手伝いながらランナーに情熱を与えてみませんか。

日 時: 平成10年2月15日(日) 9:30~16:30
場 所: 渡口交差点(40.3km) 地点~ゴール地点
役 割: ①救護係 ②ゴール給水係
③交通整理係 ④走路安全係

受付期間: 平成10年1月13日(火) 午後5時まで

※当日の弁当・ウィンドブレーカーは支部で準備します。

<問い合わせ>

実行委員会西原支部(教育委員会、生涯学習課)

☎ 945-3655



寄付・香典返し
(ありがとうございました)
▽字棚原八百三十二番地の三、
与那嶺良栄さんが、母カマド
さんのカジマヤー祝を記念し
て西原町社会福祉協議会へ十
万円。
▽字小波津二百二十六番地の
三、新里幸子さんが、一般寄
付として西原町社会福祉協議
会へ五千円。



2月15日(日) '98 おきなわマラソン(9:00~15:00、県総合運動公園)



△花束と手作りの伝言板を手に、町役場を訪問した西原白百合保育園の園児たち。

▷手づくりの鉛筆立てとプランターを持って町役場を訪問した愛和保育園の園児たち(11/20)。



園児らが町役場を訪問し、町長や職員を激励

「まいにち、おしごと、おつかれさま」と、11月23日の勤労感謝の日を前に、愛和保育園(園長・久手堅愛子)と西原白百合保育園(園長・大城常子)の年長組の園児たちが、11月20日と21日、相次いで町役場を訪問、翁長正貞町長や町職員を激励しました。愛和保育園の園児たちは、手作りの鉛筆立てとプランターを、西原白百合保育園の園児たちは花束と手作りの伝言板を、それぞれ翁長町長や役場職員にプレゼントしました。

その後、町役場内をまわり、元気な声で「毎日のお仕事、お疲れさまです。頑張ってください」と窓口に立つ職員らを激励。居合わせた町民も、可愛らしい訪問団に、思わずにっこり。



運動公園陸上競技場

まちな話

△グラウンド・ゴルフを楽しむながら「歳末助け合い運動」へ参加(町老連チャリティーグラウンド・ゴルフ大会、12/3、西原運動公園陸上競技場)

「歳末助け合い運動」へのこんな形での参加もあるよ

一町老連チャリティーグラウンドゴルフ大会一

「歳末助け合い運動の資金造成のために」と、町老人クラブ連合会(会長・与那嶺誠二)は、12月3日、西原運動公園陸上競技場で、チャリティーグラウンドゴルフ大会を開催しました。

大会に先立ち行われた開会式では、与那嶺会長から宮平吉太郎町社会福祉協議会会長に、歳末助け合い運動への寄付金(目録)が手渡されました。また、翁長正貞町長からのメッセージも寄せられました。

大会には、34チーム216人が参加、時折吹く寒風にも負けず元気にスティックを握り、あちらこちらでホールインワンがでるたび歓声があがるなど、和気あいあいとした雰囲気の中、歳末助け合い運動への参加を楽しんでいました。



▷今年で結成20周年を迎えた小波津壮年会の結成20周年記念式典のよう(11/29、小波津集落センター)。

小波津壮年会が20周年を迎え記念式典・祝賀会

小波津自治会の青年会OBらで構成する小波津壮年会(会長・小波津政晴)では、今年で結成20周年を迎えたことから、11月29日午後、小波津集落センターで記念式典と祝賀会を催しました。

同会は、小波津スポーツ少年団や青少年の指導などのため組織化を図ろうと、青年会活動を卒業したニーセーターが相互の親睦と融和を深めるために始めた親睦模合の「七日会」を発展解消して、昭和52年11月に結成されました。

記念式典では、翁長正貞町長や小波津善一町議会議員ら来賓が出席する中、これまでの会活動の報告や歴代会長らの表彰などが行われました。また、同会の小波津会長から自治会(会長・玉寄徹二)に対して、集落センター用にと、たたみ18畳(目録)が贈られました。このほか、同会では、20周年記念事業として去る4月20日に記念駅伝を実施、また、11月には記念誌の発刊などを行っています。

記念式典に引き続き、祝賀会も行われ、壮年会会員や大勢の住民が参加して、民謡や琉球舞踊を披露して同会の20周年を祝いました。



△「いそげ、いそげ」と子どもたちによる借り物競争(12/7、「小波津自治会運動会」、西原南小学校グラウンド)。

小波津自治会が運動会

小波津自治会(玉寄徹二会長)は、12月7日、西原南小学校グラウンドで、住民ら約100人が参加して、同自治会の運動会を開催しました。

運動会は、自治会内の4班それぞれのチーム対抗戦で行われ、親子リレーや借り物競争など盛りだくさんの競技種目に、競技者はもちろんのこと、太鼓をたたいたり声をからして応援する人もいて、それぞれ気持ちのいい汗を流していました。

わたしたちは、だれにも親切にし、互いに助け合いましょう。(町民憲章)